

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 長野県 】

学校名【 長野県明科高等学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・ IV ・ V （複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	対象学年：1学年 3クラス 110名 保護者、地域の方の参加：7月文化祭、約100名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ 特別活動（LHR） ）</p> <p>② 行事名（ 文化祭 ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（第1回ボッチャ競技大会パラウェーブNAGANOカップ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目 標 （ねらい）	来年度の修学旅行で実際に訪れる東京オリンピックに向けて、スポーツを楽しむ心の育成を目指すとともに、共生社会を目指す中で自分達にできる活動としてのニュースポーツ、パラスポーツを実施したり、文化祭での来校者に紹介し、活動を支援したりすることなどを通じて、生徒自らが主体的に他者との関わる方法を体験的に学ぶ。
5 取組内容	<p>(1) 文化祭学年行事：「スポーツ広場」 （来校者に対してニュースポーツを生徒が案内、体験会実施）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(2) オリンピック・パラリンピック競技についての講義：（本校保健体育科教諭） 「障がいとは何か」 「パラリンピックについて」</p> 

(3) 第1回ボッチャ競技大会パラウェーブNAGANOカップ中信大会出場
中信大会3位入賞、県大会出場



(4) 「あすチャレ! スクール」(車いすバスケットボール加藤正さん)

- ① 車いすバスケットボールデモンストレーション
- ② 車いすバスケットボール体験
- ③ 講演会

「他者のことを自分のこととして考える心」

「障がいとは何か」

「可能性に挑戦する勇氣」

「夢や目標を持つ力」



(5) 地域文化交流体験会

明科地区「いいまち作ろう会」の協力をいただき異世代交流

- ① 餅つき体験
- ② まんじゅう作り



③ おやき作り



④ おしるこ作り



(6) パラアスリート講演会 (パラアイスホッケー 熊谷昌治さん)



6 主な成果

○障がいを持つ加藤正さんや熊谷昌治さんから直接話をさせていただいたことや、車いすバスケットボール等を実際に体験したこと等から、大変だが大変楽しい世界を感じる事ができた。

○車いすバスケットボール等を体験した生徒の中には、大変興味を持ち、「難しさを感じたけれど、是非今後も車いすバスケットボールをやってみたい」との感想も聞いた。

○多くの生徒は、立場が違って相手も尊重することで、障がいの有無に関係なく交流が可能であることを体験できた。また、体験者の率直な感想を生徒同士その場で聞いたことは、他者理解を深める体験として良い機会となった。

7 実践において工夫した点 (事業の特色)

○地元安曇野市明科地区の「いいまちつくろう会」とのタイアップにより、地元住民との交流とともに文化活動の体験を行うことができた。地域文化の継承が可能と考えている。

○地域文化体験交流活動を発展させ、文化交流ももちろんであるが、相互理解が深められる中で生徒個人の承認欲求も少なからず満たされる機会になることを期待している。

8 主な課題等

○実際の生活の中において、常に障がいのあるなしに関わらず、他者を認め受け入れる態度を養うこと。

○障がいのある人に対してだけでなく、自分と異なる感覚や価値観などを認め、共生しようとする態度を養うこと。

○目に見える障がいだけでなく、他者の困り感をその人の気持ちに立ち、自分のこととして考えることができること。

9 来年度以降の実施予定

○共生社会の一員としての教養講義、体験学習は、可能な限り行いたい。

○様々な人たちと接する機会を多く設けるために、地域の方との交流会を増やす (2020年1月交流会実施。今後も世代の違う人たちとの交流を通してお互いの気持ちを受け止め、受け入れる機会を増やしたい)

○パラスポーツ (ブラインドサッカー) チームとの交流

○文化祭 (7月) でのパラスポーツ体験会